

解答

一

問一 獲物や採集物を調理することは、人間生活におけるもっとも基礎的な行動であり、そのためには火が必要だから。

問二 ひとは、じぶんもまた生きるためには他のいのちを破壊せざるを得ない生き物の一つでしかないということを、身をもって学ぶ機会をほとんど失いつつあるということ。

問三

ウ せっかく育てた花を引きちぎり、あたり一面にぶちまけることを通じて、いのちを潰さないことには（生きていけないことを味わわせようとしている。）

問四

A イ B エ C ア D ウ

問五

肉や魚を切

問六

(ア) 独身

(イ)

正確

(ウ)

医院

(エ)

満開

(オ)

季節

問七

エ

二

問一 たいしたとりえではないにも関わらず、絵が自分のとりえだと一馬に言ってしまったことをはずかしく思い、言わなければよかったと後かいたから。

問二 自分ではとりえだと思っていた絵も、クラスに一人はいる程度のものだと思い知らされて悲しくなったということ。

問三

ウ

問四 奏が絵を好きだと思い、絵を習わせてくれるような優しい親に、習うのをやめたいと言えないのは、単に勇気がないだけだということ。

問五 絵を描くことが本当に好きなのかわからない以上、どう行動すればいいか簡単には決められないということ。

問六

A エ B ア C イ D ウ

問七

一 ア 二 エ 三 ウ 四 イ 五 オ

問八

エ

解説

一

問一 ——(1)の前に着目します。ひとは食べずには生きていけず、食べるものを作らなければならないので、獲物や採集物を調理することは、人間生活におけるもっとも基礎的な行動であり、調理するためには火が必要なので、これらの内容をまとめて書き表します。

問八 本文中盤の「誕生や病いや死は、」で始まる段落に着目します。誕生や病いや死は、人間が無力な存在であることを知る出来事であり、排泄も、じぶんがほかならぬ自然の一メンバーであることが思い知らされるいとなみであるという内容から、選択肢エが選べます。

二

問一 続く部分の「はずかしい。自分のとりえが『絵』とか言っちゃって……。それだって、たいしたとりえじゃないくせにっ！」という記述から理由がわかるので、言わなければよかったと後悔している気持ちとあわせで説明します。

問八

本文半ばにある「いいの。本当にそうだったの。美術スクールに行って、自分のレベルがよくわかった」という発言から、本文の内容に合っているものとして選択肢エが選べます。